シリーズ２０１

高めよう！人権意識　心のかけ橋　　問い合せ：人権推進課（電話：９２８－１００６）

「やさしい日本語」で会話してみませんか？

　　皆さんは市内に外国人市民が何人くらい暮らしているかを知っていますか？

　現在53カ国約７，３００人が暮らしています。この数は年々増えていて、日常生活でも外国人市民と接する機会が、今後ますます増えてくることでしょう。接する中では、「言葉がわからないし…」

「どうやってコミュニケーションをとればいいのか不安だ」など、戸惑うことが出てくるかもしれません。そんなときこそ「やさしい日本語」の出番です。

子どもの集団登校の集合場所を伝えないといけないのよね…。でも英語は苦手だから…。

コミュニケーションをとるために

やさしい日本語とは、もともと災害情報を「迅速に」「正確に」「簡潔に」被災した外国人市民に伝えるために考えられたものです。言葉をやさしく言い換えるだけでいいのです。

　そして何より「笑顔で相手の顔を見てゆっくり話すこと」が大切です。

笑顔で相手を見て話すことは世界共通！

外国語で無理して話さず、言葉をやさしく言い換えてみましょう

・無料です。　→　お金はいりません。０円です。

・避難してください。　→　逃げてください。

・雨天の場合は翌週に順延します。　→　雨のときはしません。そのときは○○日にします。（日にちを言う）

・お子さん、何年生だっけ？　→　子どもは何年生ですか？

・ご記入いただけますか？　→　書いてください。

・必ずご覧ください。　→　大切です。必ず見てください。　など

まずは、身近にいる外国人市民から気軽に話しかけてみよう。

誰もが暮らしやすいまちをめざして

国や地域によって文化や習慣は異なります。その違いを認め合い、地域社会の仲間として一緒に生活していける「多文化共生」のまちづくりを進めていきましょう。

　みんなが生き生きと暮らせるよう、やさしい日本語を使って、勇気をもって積極的にコミュニケーションをとってみましょう。それがお互いのことを理解する第一歩となるはずです。

　今年は市制施行１００周年です。多くの記念イベントも予定されていて、外国人市民と接する機会もたくさんあります。みんなで祝い合いたいですね。

問い合せ：市民相談課（電話：９２８―１０５０）

高めあう 人権感覚　確かな未来